



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2008年（平成20年）4月15日号 No. 1427

目次

■2007年のCIS諸国の経済（上）	1
■トピックス	12
ロスネフチがロシア最大の石油会社に／12	
資生堂がロシアでの販売を増やす方針／12	
国際協力銀がロシア大手銀に融資枠設定／12	
いすゞの小型トラックがロシアで量産へ／12	
■エトセトラ	13
「サンクトペテルブルグ・ビジネス戦略会議」のご案内／13	
■ロシアNIS貿易会関連の行事予定	13
■ロシア・NIS諸国通貨の為替レート	13

2007年のCIS諸国の経済（上）

はじめに

CIS諸国の2007年の経済データが出揃ったので、本誌では今回と次回の2回に分けて、CIS統計委員会発表の統計データを紹介しつつ、それを踏まえながら各国の最新の経済情勢について解説することにする。今号では、全12カ国の主要経済指標を表にまとめて掲載するとともに、CIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けする。中央アジア諸国（カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン）および南コーカサス諸国（アゼルバイジャン、アルメニア、グルジア）のレビューは次号で扱う予定である。各国レビューの執筆は、当会ロシアNIS経済研究所のスタッフによるものであるが、ロシアについては北海道大学スラブ研究センターの田畑伸一郎教授にとくにご寄稿いただいた。

CIS全般：好調のなか、不安要因も拡大

好調さを維持するCIS各国の経済 2007年のCIS諸国の経済は、大部分の国が、前年と同じ